

事業テーマ：うるち米を使った「性学もち」の利用法の開発と販路の拡大

企業名：特定非営利活動法人千葉自然学校

所在地：千葉市中央区富士見2-3-1

塚本大千葉ビル7階

助成事業の概要

うるち米を使った「性学もち」は、幕末のころ、大原幽学が香取の農民に伝えたといわれるうるち米で作った郷土料理であり、「性学もち」を現代の食生活に適した利用法に開発・普及・販売をするための事業を行った。専門家を招き性学もち研究会を5回開催し利用法を検討した。また、都市農村交流拠点として当団体が所有する南房総の古民家「ろくすけ」において性学もち講習会を2回開催し、周知及び利用アイディアの募集を行った。

助成事業の成果

本事業で開発した性学もちの商品名を「ろくすけもち」とし、なべ物や汁物に入れて煮込んだり、網やフライパンで焼いてライスサンド等のメニューを紹介する普及講習会、利用アイディアの募集を実施するとともに「ろく

すけ」で囲炉裏を使って焼き団子等の提供、また法人が運営している県内の少年自然の家の食事への導入及び講習会等で販売を行い、好評を得ている。また平成30年度千葉県内の商工会・商工会議所が中心で設置したアンテナショップにおいて販売を行なった。

今後の展望

性学もちの柔らかさを保つ食べやすさを追求した製品の改良を図るとともに、大量に生産をしていくための製造方法を検討し新たな販売先を拡大し幅広い普及を図っていきたい。

性学もち「ろくすけもち」



助成金活用感想

製品の保存・販売には欠かせない真空包装機の購入、PRイベントの開催に活用でき大変助かった。